

>清少納言が枕草子で

岡は船岡と讚えた



洛北 船岡山から今宮神社と

巨刹 大徳寺を訪ねて

担当:2班



船岡山からの眺望

船岡山は京都市北区にある標高112mほどの小さな丘で、桓武天皇が船岡山の山頂から山城盆地を見渡し、都を遷すことを決めたと伝わることから「京都始まりの地」とされ、「国見の丘」と呼ばれるとともに、北方守護の神「玄武」が宿るとも伝えられています。また、平安京の中軸線である朱雀大路の真北に位置していることから、造都に際して南北軸の測量基準点になったと伝わります。

古来より船岡山は景勝の地として、その景観が尊ばれ、平安期の王侯貴族からは若菜摘み、わらび採りに興じる清遊の地として愛され、多くの和歌が残されており、清少納言も枕草子に「岡は船岡」と讚えています。

船岡山公園での昼食後は、玉の輿の逸話で有名な今宮神社を訪れ、「阿呆賢さん」を持ち上げたり、秘伝の白味噌を使った名物「あぶり餅」をいただいて、厄除け祈願をしましょう。

今宮神社から一休禅師が復興した臨済宗大徳寺は直ぐです。今回は 20 を超える塔頭が立ち並ぶなかから、国宝の本堂(方丈)をもち、室町時代を代表する枯山水庭園が特別名勝に指定されている、大仙院を拝観の予定です。

- 【実施日】 2025年3月14日(金)
- 【集合】 京都市営地下鉄「鞍馬口」駅 10時30分
- 【参加費】 600円
 - ※ 大仙院拝観料、あぶり餅代(会計より補助)
- 【持ち物】 昼食、飲み物、雨具
 - ※ 実施可否は、当日の天候を総合的に判断し前日17時頃までにメールでお知らせします



船岡山公園ラジオ塔と裏側

< 行程 > ~ 約5km ~

鞍馬口駅 ⇒ 建勲神社・船岡山公園 (昼食・班長会議) ⇒ 今宮神社(あぶり餅) ⇒ 大徳寺・大仙院 ⇒ 北大路駅

◇ 大仙院は古岳宗巨禅師が創建され、千利休が度々訪れていたことでも有名です



今宮神社とあぶり餅



方丈南庭



参道



書院庭園